

# hera

- IPアドレス : 10.250.128.90
- Synology
- NFSサーバ
- バックアップ

# Synology

- **Synologyとは**

- Synology社が開発したNAS
- ブラウザ上で色々な設定ができる  
⇒ディスクステーション
- Synology専用のRAIDのSHRを使える  
⇒平松くんの説明参照

# Synology

- **NAS(Network Attached Storage)とは**

- ネットワークに接続できるハードディスク
- USBではなくLANで接続

- **ディスクパーティション**

- ブラウザのアドレスバーに「10.250.128.90:5000」と打ち込むことで開ける
- NFS、ファイヤウォールなどの設定が可能
- バーチャルボックスなどを起動することが可能

# NFS

- **NFS(Network File System)とは**

- 別のコンピュータの外部ストレージをネットワーク経由でマウントできるファイルシステム、またはプロトコル

- **ファイルシステム**

- 記憶装置に保存されたデータを操作するための機能

ext4 , Btrfs , nfs , etc...

- ファイルの保存、暗号化、圧縮などの機能がある
- マウントするときに指定する必要がある

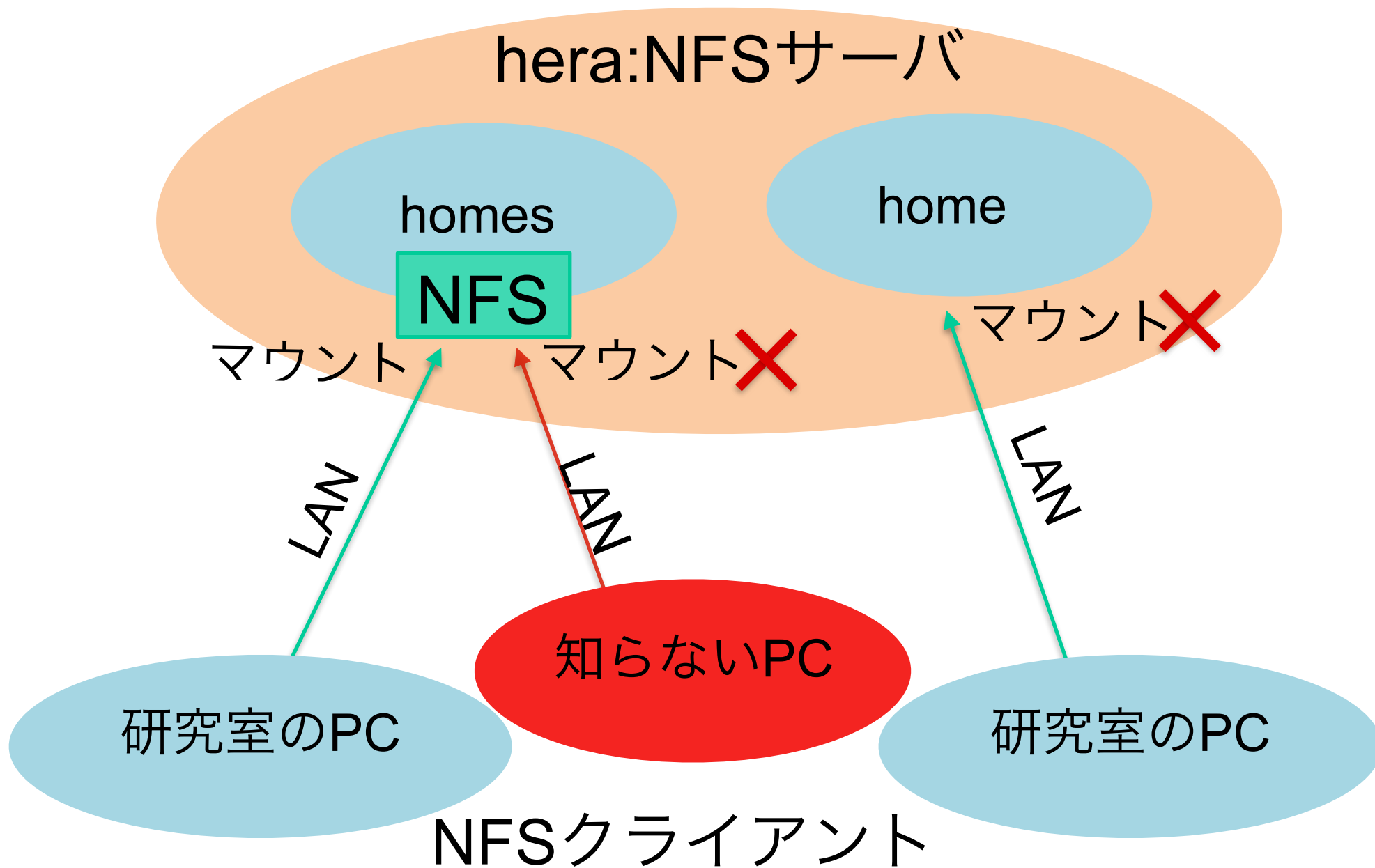
# NFS

- **プロトコル**

- ネットワーク通信における手順や約束事のこと  
HTTP , SMTP etc...

- **NFSサーバとNFSクライアント**

- ストレージを提供する側 ⇒ **NFSサーバ**
- ストレージを提供される側 ⇒ **NFSクライアント**
- 接続できるNFSクライアントを個別や範囲で設定できる



# NFS

## • NFSのクライアント設定

- hera内の/etc/exportsで設定

[ディレクトリ名] [IPアドレス] という形で設定する

今は /volume1/homes 10.250.128.0/255.255.255.0

となっている

- **exportsの設定反映**

- exportfs -ra でNFSを止めることなく設定を反映できる
- exportfs -v で実行中のexportsの中身を表示
- またはディスクステーションの「コントロールパネル」の「共有フォルダ」から設定できる

# NFS

## ・マウント状況

- ・コマンドプロンプト上でmountと入力

⇒ hera:/volume1/homes/hera on /ahome/hera type on nfs

と、どこかに表示される



# バックアップ

## ・クーロン

- ・シェルスクリプトなどを自動実行してくれる  
⇒バックアップなど定期的に行いたいものに使う
- ・だいたい /etc/crontabが設定ファイル
- ・ただしheraが実行しているのは/opt/etc/crontab

## ・バックアップ

- ・クーロンでhera , zeus , public をそれぞれバックアップしている

# バックアップ

## • crontab

- crontabに時間などを以下のように入力する

⇒分 時 日 月 曜日 ユーザ コマンド

- 実際のhera上のcrontabは以下のようにになっている

```
*/1 * * * * root /opt/bin/run-parts /opt/etc/cron.1min  
*/5 * * * * root /opt/bin/run-parts /opt/etc/cron.5mins  
01 * * * * root /opt/bin/run-parts /opt/etc/cron.hourly  
02 4 * * * root /opt/bin/run-parts /opt/etc/cron.daily  
22 4 * * 0 root /opt/bin/run-parts /opt/etc/cron.weekly  
42 4 1 * * root /opt/bin/run-parts /opt/etc/cron.monthly
```

# バックアップ

## •実行されているクーロン

- cron.dailyのみ、今は実行されている

## •cronの実行

- opt/etc/init.d/S10cron start で実行 stopで中断

## •cronの設定

- crontab -l で今実行しているcronのリストを表示
- crontab <ファイル名> でcrontabの設定変更を反映

## • バックアップされたファイル

- /volume1/homes/bkup にそれぞれのバックアップが保存されている

# venus

- **IPアドレス:10.250.128.100**

- ・今はMac内のバーチャルボックスで起動中

- **NFSサーバ**

- ・今はほぼ使っていない

- **NISサーバ**

- ・メイン

# NIS

- **NIS(Network Information Service)とは**

- 同じネットワークに接続された複数のコンピュータ間でシステムの設定情報を共有することができるシステム

- **NISサーバ & NISクライアント**

- サービスを提供する側 → NISサーバ(venus)
- サービスを提供される側 → NISクライアント

- **ypserv & ypbind**

- NISサーバがインストールするもの → ypserv
- NISクライアントがインストールするもの → ypbind

# NIS

## • NISのアクセス許可の設定

- /var/yp/securenets が設定ファイル  
[サブネットマスク] [IPアドレス] という形で入力
- 実際にvenusでcatコマンドを使って表示してみると

```
$ cat /var/yp/securenets  
~~~~中略~~~~
```

```
# Always allow access for localhost  
255.0.0.0          127.0.0.0
```

```
#This line gives access to everybody. PLEASE ADJUST!  
255.255.255.0      10.250.128.0
```

と表示される

# NIS

## ・アカウントの作成

- ・venus上でroot権限で行う

- ・アカウント作成

- # /usr/sbin/adduser -g users -d /home/hera/<名前> <名前>

- ・NISによるアカウント共有のために以下を実行

- # cd /var/yp
  - # make all